

平成27年4月12日
執行

大分県知事選挙公報

大分県
選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)

消費税増税やリストラ大企業への補助など、現知事も前大分市長も同じ立場です。日本共産党公認・山下かいは、国・大企業いいなりの県政を3つの転換で変えます。



くらしが一番
38歳知事で
大分から政治を変えよう

国・大企業いいなりの知事・前大分市長でなく



日本共産党公認

山下かひ

3つの転換

1 国いいなりの県政から
安倍暴走政治と対決、くらし・平和を守る県政へ

現知事も前大分市長も、首長として消費税増税分を上乘せして公共料金を値上げ。
山下かいは、消費税10%中止、TPP撤退、
「原発ゼロ」などをかけ、暴走政治からくらし・平和を守る県政をさすまます。憲法9条を守る首長の会や脱原発をめざす首長会議へ参加します。

2 大企業優先の県政から
賃上げ・正規雇用で、地域経済よくする県政へ

5千人以上派遣切りのキャノン関連に71億円補助の方で、県民所得は30万円減る現県政。
山下かいは、大企業の内部留保285兆円の
一部を賃上げに回し、正規雇用で雇うように、県が誘致した大企業や経済団体へ要請します。
「地元から正規雇用で雇う」協定も結びます。

3 福祉・教育に冷たい県政から
税金の使い道を見直し、福祉・教育最優先の県政へ

介護保険料値上げへ県独自の支援をせず、不登校が多いのに教職員定数減らす現県政。
山下かいは、県のためこみ金443億円をい
かし、キャノンなど156億円つぎこんだ企業補助金を見直し、福祉・教育充実へ回します。知事退職金(4年で3300万円)は受け取りません。

【略歴】1976年湯布院町(現・由布市)生まれ、日本放送協会(NHK)学園高等学校卒業、党県常任委員、党県青年学生部長。
【事務所】大分市中津留1の2の8 電話097(558)0652



- 住宅リフォーム助成制度拡充。中小企業を支援し最低賃金時給1千円以上に。
- 国保税(料)引き下げ、国の介護サービス外しに反対し、介護保険の負担軽減。
- 子ども医療費は通院も中学卒業まで無料。教職員を増やし少人数学級の拡充。
- 集団的自衛権「閣議決定」撤回、日出台演習場の米海兵隊訓練中止を国へ要請。

大分県知事選挙 大分県議会議員選挙

投票日は 4月12日(日)



投票日当日に、投票所に行くことができない方は、期日前投票をご利用ください。

期日前投票の期間 { 県知事選挙 3月27日(金)~4月11日(土) }
{ 県議会議員選挙 4月4日(土)~4月11日(土) }

ふるさとの 創生託す この一票 大分県選挙管理委員会

この選挙公報は、立候補者5名のうち掲載申請があつた4名から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成27年4月12日

執行

大分県知事選挙公報

大分県

選挙管理委員会

(掲載順序はくじによる)

福祉の「ばん」 今こそ出番!

～幸福度日本一の暮らしを実現～

釘宮ばんはふるさとの未来を見つめています。



釘宮ばん

釘宮ばんら5つの約束

- ① 高齢者が安心して暮らせるまちづくり
(みんなが安心できるふるさとづくり)
☆医療・保健・介護の不安を「安心」に変える県政を進めます。
☆地域で安心して暮らせる大分県をつくります。 ☆高齢者の生きがいづくりを応援します。
- ② 「女性の安心」「子どもの未来」を守る県政
(女性・子ども・弱者の視線のまちづくり)
☆子育て環境を充実します。 ☆多様な働き方を支援します。 ☆子育てを社会全体で応援します。
- ③ 若者が挑戦できる地域産業づくり
☆強い農林水産業をつくります。 ☆「わがまちブランド」の創造・発信を支援します。
☆地元で働く環境づくりを進めます。 ☆魅力ある観光の振興を図ります。
☆6次産業化を促進し、付加価値の高い商品開発やブランド化を促進します。
- ④ ふるさとを未来につなぐ人づくり
☆地域を愛し誇りを持てる教育を推進します。 ☆教育環境の充実を図ります。
☆スポーツを通じた次世代の育成を進めます。
- ⑤ 「県民目線」と「ボトムアップ」による県政
☆地域が主役のまちづくりを進めます。 ☆県民協働の大分県をつくります。
☆思い切った新たな発想により効率的な県政を進めます。

動かんと変わらん! 「ばん」の出番 「あなた」

釘宮ばんは県民党です。いつでもみなさんと一緒に。

釘宮ばんの詳しい政策はホームページでご確認いただけます。<http://kugimiyaban.jp/>



大分県知事選挙 大分県議会議員選挙

投票日は 4月12日(日)



めいすいくん

投票日当日に、投票所に行くことができない方は、期日前投票をご利用ください。

期日前投票の期間	{	県知事選挙	3月27日(金)～4月11日(土)
		県議会議員選挙	4月 4日(土)～4月11日(土)

ふるさとの 創生託す この一票 大分県選挙管理委員会

この選挙公報は、立候補者5名のうち掲載申請があった4名から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成27年4月12日

執行

大分県知事選挙公報

大分県

選挙管理委員会

(掲載順序はくじによる)



みいさこ高明たかあき

大分を力強くデザインする

一、県民の声を聞き、行政に反映させる。行政力は、健全な議会と一体となつて力強く政治力を働かせる。

人の流れ、物の流れを、渋滞のないスマートな流れにする。

二、都市機能の良さを充実させる。地方にあつては、その自然の良さを美しさを、両立させる。

三、産業振興、その活性化農林畜産、漁業と地方再生を願う。国の制度、地方創生にも競って地方地域の再生を企画する。大分の再生再復興を画る日本に大分ありと言える大分、良き大分を創る、実現する。

鉄道の拡充と整備を企画し自動車道、一般道、海の道も整備し、空路ともつなぐ。

大分県知事選挙 大分県議会議員選挙

投票日は 4月12日(日)



めいすいくん

投票日当日に、投票所に行くことができない方は、期日前投票をご利用ください。

期日前投票の期間 { 県知事選挙 3月27日(金)~4月11日(土) }
{ 県議会議員選挙 4月 4日(土)~4月11日(土) }

ふるさとの 創生託す この一票 大分県選挙管理委員会

この選挙公報は、立候補者5名のうち掲載申請があつた4名から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成27年4月12日

執行

大分県知事選挙公報

大分県
選挙管理委員会

(掲載順序はくじによる)

ステップアップおおいた 広瀬勝貞の挑戦

県民中心に **安心・活力・発展**の大分県をつくります。
これまでの実績の上に新たな改革を積み重ね、
大分県の地方創生に取り組みます。



人 人を大事にし、人を育てる

- 「子育て満足度日本一」を実現し、子どもを生み育てやすい環境づくりを推進します。
- 高齢者の元気づくりを応援し、地域包括ケアシステムを構築します。
- 障がい者が地域で安心して暮らせるよう、支援を充実し、就労を促進します。
- 女性の力が十分に発揮されるよう、活躍を支援します。
- 学校・家庭・地域が連携して教育を充実します。

仕事 仕事をつくり、仕事を呼ぶ

- 農林水産業の構造改革と農商工連携による食品加工産業の振興を図ります。
- 生産から販売まできめ細かな支援により中小企業・小規模企業を振興します。
- 商業・サービス産業の振興、観光・ツーリズムの展開を推進します。
- 新しい仕事づくりに向けて、創業、起業の支援を強化します。
- 企業誘致と産業集積をさらに深化させます。
- 新エネルギー産業の育成、東九州メディカルバレー構想の推進など新産業の展開を図ります。

地域 地域を守り、地域を活性化する

- 小規模集落対策を推進します。また、集落の機能を広域で補い合う「ネットワーク・コミュニティ」の取組を進めます。
- 観光による誘客、芸術文化の振興、スポーツイベントなど新たな発想で、地域の活性化を図ります。
- 豊かな自然環境や水環境を守り、未来へ継承します。
- 南海トラフ巨大地震や豪雨災害への備えなど、県民の安全・安心に万全を期します。

基盤 基盤を整え、発展を支える

- 中九州横断道路や中津日田道路など広域交通網の整備を加速します。
- 東九州自動車道の開通を契機に、九州の東の玄関口としての拠点づくりを推進します。
- 庄の原佐野線の整備など都市部の渋滞対策を推進します。
- 東九州新幹線の整備を促進します。

変化への挑戦

私たちは今、時代の潮目にいます。変化に対応し、将来の展望を開く大事な時です。
アンテナを高くして状況を読み、現場主義に徹して、県民の皆さんと気持ちを合わせ、
夢と希望あふれる大分県を築いていきます。

ひろ
せ
かつ
さだ

無所属

大分県知事選挙 大分県議会議員選挙

投票日は 4月12日(日)



めいすいくん

投票日当日に、投票所に行くことができない方は、期日前投票をご利用ください。

期日前投票の期間	}	県知事選挙	3月27日(金)~4月11日(土)
		県議会議員選挙	4月 4日(土)~4月11日(土)

ふるさとの 創生託す この一票 大分県選挙管理委員会

この選挙公報は、立候補者5名のうち掲載申請があった4名から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成27年4月12日
執行

大分県議会議員選挙公報

大分市選挙区

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)



ひらいわ じゅんこ
平岩 純子

今年も桜の花が咲き誇る季節になりました。誰もが希望に胸躍らせる時です。しかし、そんな春の訪れを、複雑な気持ちで迎えている方も、いらつしやるのではないのでしょうか。

さまざまな理由から、学校に行きたくても行けない子どもたちがいます。セクハラ・パワハラやDVという形で、いまだに女性の尊厳が傷つけられています。「障がい」のある方や高齢者の方への支援や介護の現場は、年々厳しさを増しています。

”ともに生きる“社会をめざして

私はその思いで、これまで三期十二年間、教育・福祉施策の充実、DV被害への対策、「障がい」のある方々の就労支援などに取り組ませていただきました。

「友だちと一緒に学校に行きたい」
「将来に希望をもって働きたい」
「安心して家族と暮らしたい」…

経済優先の社会の中で、ともすれば消されてしまいうような声がたくさんあります。そんな小さな叫びを、私はこれからも県議会の場に届けたい、そう思っています。

平岩 純子

安倍暴走政治ストップ 暮らし応援の県政を



えいぞう
つつみ 栄三
日本共産党

国いいなり、大企業優遇の県政と対決。オール与党県議会の中で、県議の海外視察(公費1,000万円)中止を求めるなど無駄づかいをチエック。対案をしめし、願いを県政に届けてきました。

県民との共同で願いが前進

・30人学級が小1・2と中1で実現、入院医療費は中学卒業まで補助になりました。
・「住宅リフォーム助成」制度の創設を提案。2011年から部分的に実施されました。
・議員報酬とは別に付いている日当(費用弁償)を下げ、1万円から3千円へ減額させました。

安倍暴走政治から暮らし・平和を守ります

・戦争する国づくりストップ！憲法9条を守ります
・消費税10%はキツバリ中止
・原発再稼働反対、原発ゼロへ
・TPP交渉撤退を
・若い人も高齢者も安心できる年金制度を

新しい県議会に提案します

・住宅リフォーム助成制度の実現
・子ども医療費は中学校卒業まで無料に
・すべての小中学校に30人学級を
・国保税・介護保険料の引き下げ
・正社員が当たり前の雇用を

財源はあります

県のためこみ金(44.3億円)、企業誘致補助金(15.6億円)の見直しでくらしの財源確保を

つつみ 栄三 1956年11月生まれ 58歳。
小中・高を臼杵市で。熊本商科大学卒業。大分民主圏工大会20年勤務。現在 大分県議会議員 3期 党県副委員長。



←つつみ栄三のフェイスブック

丁寧な政治

県民の皆様の声に耳を傾け、さまざまな意見を集約し、最善の政策を実現します。

森田とものぶの政治信条

- ① 人に優しい政治
- ② 過去にとらわれない政治
- ③ 次世代に負の遺産を残さない政治



森田とものぶ
無所属

森田とものぶ プロフィール

昭和34年4月 大分市浜町に生まれる(現在55歳)
平松幼稚園、中島小学校、碩田中学校を経て、
昭和50年4月 大分舞鶴高校に入学
2年生のとき、前期生徒会長を務める
昭和53年4月 早稲田大学政治経済学部 入学
昭和57年4月 朝日生命保険相互会社 入社
勤続30年間で、人事、社員教育、財務(外為ディーラー)、営業企画、法人営業とさまざまな部署でキャリアを積み、幅広い視野と価値観を養った
平成24年3月 政治家を志して朝日生命保険相互会社を円満退社

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成27年4月12日
執行

大分県議会議員選挙公報

大分市選挙区

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)

元県職員(57歳)・中道・無所属・無地盤
ザ・ストップ!
ゼロ利き!



- ① **公平・平等な県政**⇒教員不正採用事件の「口利き」は氷山の一角。他にも、進学、就職、補助金、許認可、入札など様々。議員や職員、有力者からの不正な「口利き」を受け付けない、公平・平等な県政を実現します!
- ② **青少年の健全育成**⇒県青少年育成県民会議事務局次長、並び少年の船事務局次長などを務めた経験を生かし、青少年の健全育成を推進します!
- ③ **産業振興**⇒県産業創造機構で、企業や大学との産学連携事業(事業規模25億円)の推進局長を務めた経験を生かし、産業振興を推進します!
- ④ **障害者福祉の向上**⇒自分自身の長期の入院・リハビリの体験と、身体障害者(体幹機能著障5級)の視点から、障害者福祉を向上させます!
- ⑤ **NPO活動の支援**⇒県初のNPO担当者として、NPO条例を立案し、各地で説明会や意見交換をした経験を生かし、NPO活動を支援します!

【経歴】

大分大学経済学部卒、旧男子寮(紫岳寮)役員・寮生
大分県青少年育成県民会議並び少年の船事務局次長
(財)大分県産業創造機構 地域結集事業推進局長
平成23年度大分大学工学部後援会長(理事6年間)



ふかだ やすふみ
深田容史



多様な体験を県政に!

- 竹内さよみプロフィール
- 1964 大分県立大分舞鶴高校卒業
 - 1968 九州大学文学部社会学専攻卒業
 - 1969 九州大学文学部大学院社会学専攻中退
 - 1969 日立製作所勤務 コンピュータープログラマー
 - 1972 県立高校英語教師
 - 1987 大分医科大学入学
 - 1993 九州大学附属病院等に医師として勤務
 - 1996 たけうちクリニック開業(～2011)
 - 2000 スクールカウンセラー(～2005)
 - 2001 NPO法人アスパル副理事長 (不登校生のためのフリースペース)
 - 2011 大分県議会議員初当選(現職)

“誰もが生まれてよかったと思えるために”

「女性力で!!」
感謝して
つながって輝く
大分県づくり

- ① 国・県・地域をつないで 活力・発展の県土づくり
- ② 地域と地域をつないで 人材・資源の有効活用
- ③ 人と人をつないで 子育て・教育・医療・福祉
- ④ 人と自然をつないで 農業・観光・減災・防災



自由民主党公認
竹内さよみ

農業振興は

油布かつひで

にお任せを!

大分県の農業生産高は九州最下位ですが、県内を見廻しますと有力なブランド作物が多くあります。将来を見据えつつ、これらのブランド作物を生かして、いかに「儲かる農業」にしていくかが課題であります。地方創生の鍵の一つは、農業にあると思えます。農業の振興のために農家と行政のパイプ役として油布かつひでは、働き続けます。

シャキッと行こう!

「油布かつひで」略歴

- 昭和25年 大分市吉野地区に生まれる
- 昭和44年 三重農業高校卒業後、大分市農業協同組合入職
- 平成元年 大分市議会議員初当選、以後連続4期
- 平成15年 大分県議会議員初当選
- 平成19年 大分県議会議員選落選、浪人中農産物販売所「川の駅」を立ち上げる
- 平成23年 大分県議会議員再選

安心安全で、住みよい大分に!

自民党 Lib Dems
Liberal Democratic Party of JAPAN



ゆふ
油布かつひで
自民党公認

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成27年4月12日
執 行

大分県議会議員選挙公報

大分市選挙区

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)

働きます！心やさしくあなたのために！

吉岡みちこ お約束



- 安心・安全の都市づくり
- 少子化・子育て支援の充実
- 高齢者福祉行政の拡充
- 個性輝く教育の推進
- 女性が働きやすい環境づくり
- 公営住宅の住環境整備と拡充



4年間の主な実績

- 24時間対応の循環型訪問サービスの推進
- 子育て世代の就労支援推進
- 庄の原佐野線、橋りょうの整備推進
- 子ども医療費助成制度の拡充
- 県の防災備蓄品(女性用品)の充実
- 地域包括ケアシステム推進
- 電気自動車用の充電設備の整備推進

よしおか 吉岡みちこプロフィール

- ◆略歴◆
- 平成13年2月 大分市議会議員初当選
- 平成21年2月 大分市議会議員3期目当選
- 平成23年4月 大分県議会議員初当選

- ◆地域役職・資格◆
- (元)大分市立明野中学校PTA副会長
- (元)県立大分上野丘高校PTA評議員
- 大分市青少年補導員
- 防災士

- ◆党役職◆
- 県副幹事長
- 県女性局長
- 県民運動局長 他



よしおか
吉岡みちこ

くらしに安心。元気な大分県づくりへの挑戦

プロフィール

1954年 10月23日由布市庄内町生まれ
 1973年 大分県立大分工業高等学校機械科卒業
 1973年 日本電信電話公社大分電報電話局入社
 (2009年退職)
 1997年 大分市議会議員初当選(～2011年)
 2011年 大分県議会議員初当選 現任に至る

【役職等】

西の台小学校・大分西中学校PTA会長
 にじが丘自治会顧問(現職)
 大分市交通安全協会西の台分会にじが丘
 代表理事(現職)
 スペシャルオリンピック日本・大分評議員(現職)
 民主党大分県連幹事長・副代表(現職)

小嶋秀行選挙事務所

〒870-0003 大分市生石1-1-5
 TEL(097)578-7500 FAX(097)578-7580
<http://blog.goo.ne.jp/kojimahideyuki>

地方が元気な日本を創る！「街に温もり、暮らしに安心」 八つの重点政策

県政 オープン 宣言	環境	しごと	人づくり	街づくり	あんしん	くらし	子ども
「地域主権」改革待ったナシ！ まずは、「一括交付金制度」の創設。 「補完性の原則」で、地方自治体実力アップ。	NO！地球温暖化。 YES！再生可能エネルギーへの転換。 NO！化石燃料大量消費。 農林水産業の「活成」、世代交代。	成長！中小企業。 若者に仕事、働き方の改善。 農林水産業の「活成」、世代交代。	励む！担い手育成。 文化・スポーツ芸術のすすめ。 国際交流、交流人口の増加。	みんなの知恵で「ツーリズム」。 人街、情報心。 みんなの知恵で「ツーリズム」。	つながる！いつでも、誰でも、何処でも。 防災リーダー育成体系充実・発展。 地域防犯力の強化。	大切！子どもとお年寄り。 笑顔が似合うみんなの「安心おおいた」。	子ども第一！変わる大分っ子の育ち。 元気に遊び、学び、育つ環境。 大人と地域の責任。



こしま
小嶋秀行
民主党公認

阿部えいじんはやります!!

子どもに夢を!!
子どもに未来を!!

県立武道館建設!!
東九州新幹線の実現!!



あべ
阿部えいじん
自民党公認

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成27年4月12日
執 行

大分県議会議員選挙公報

大分市選挙区

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)

県政の活力源 えとう ひろあき 博昭 35歳

えとう博昭プロフィール

年齢 35歳
1979年11月生まれ
略歴 大分市立住吉小学校
大分市立碩田中学校
県立大分上野丘高校
慶應義塾大学商学部
三菱重工業(株)入社
(2014年5月退職)

- 大分の歴史、文化、伝統、お祭りを大切に
家庭・地域が一丸となって子育てをする社会を実現します。
- お年寄りにやさしい地域社会を
道路網を整備促進。市街のバリアフリー化を目指します。
- ふるさと大分の創生は若者の雇用創出から
地域を活性化させるために地元企業をサポートします。
- 地域の底力で美しい安全な街づくりを
すべての人たちに安心・安全な街づくりを目指します。



無所属
(自民党推薦)

えとう
ひろあき
博昭

子どもたちに平和で安心して暮らせる社会を残すことが私たちの責任です。
「地方の再生は農業から」との思いで農業をはじめ10数年が経過しました。
今、私たちのまわりには過疎や地域医療・福祉の問題、平和の尊さや教育・若者の雇用、原発の是非と防災・環境など、課題は山積しており、その多くが制度政策上の支援を必要としています。
私は身近な県政の場からそうした数々の課題を克服するため、新たな挑戦を決意しました。



えとう博昭(40才)

博昭の新たな決意

- ・子どもから高齢者まで、すべての人にやさしい社会を!
- ・一次産業(農林水産業)を活性化し、地域興しを!
- ・若者の雇用拡大など、若者に目を向けた政策の実現を!
- ・社会的弱者の立場に立った教育と福祉・交通政策の実現を!



えとう博昭

安心して希望を語れる大分づくり

ふじた正道のプロフィール

昭和37年(1962年)5月19日生まれ(佐伯市上浦町)
昭和53年(1978年)3月 津久見市立日代中学校卒業
昭和56年(1981年)3月 大分県立臼杵高等学校卒業
昭和56年(1981年)4月 九州電力株式会社入社

- ・大分市消防団金池分団/防火管理者/防災管理者
- ・金池町1.2.3丁目・要町町内会防災士(大分市第8期防災士)
- ・上野ヶ丘中学校父親クラブ会長
- ・NPO法人マンション管理組合ネットワーク大分理事・事務局長
- ・大分・カンボジア(シェムリアップ)協会副会長

日頃より大分県議会議員「ふじた正道」ならびに後援会へのご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございます。県議会議員となり4年目を迎え、間もなく任期最終盤を迎えようとしています。

この間、みなさまとの約束である「現場主義」「対話主義」「実践主義」を念頭に、県内外の現場を回り、みなさまの生の声とそこで生じている問題点を議会で指摘し、県政の課題へと取り上げ、そして自ら考える解決策を提言してきました。その中で、いくつかの現場の声が反映され、形に成りつつあると手応えも感じています。

そして、これまでの活動を通じ、「安心して希望を語れる大分づくり」にとつての最大の課題は「人口減少社会」への対応にあるとの考えに至りました。そうした環境変化に適応するために5つの政策課題を掲げ、その実現に向けて引き続き全力で取り組んで参ります。

3つの約束「現場主義」「対話主義」「実践主義」

「現場主義」 一つひとつの課題を現場の視点・想いで捉えられるよう、まず現場に足を運びます。
「対話主義」 対話の中から自分なりの判断基準を見出し、政党や会派を超えて協働します。
「実践主義」 机上や議論に留まらず、自らも汗を流すことで解決策を見つけます。

人口減少に適応した社会への5つの提言

子ども・若もの・子育て世代への支援充実

子育て・教育環境の整備、若もの県外転出防止、Uターンへの促進のための支援策の拡充
若ものが主体的に起業や地域活動に取り組めるための環境整備

産業や福祉など現場を支える人材の確保

産業分野ごとの将来必要な人材の推計と育成・確保計画の策定と具体的な取り組み
WIN・WINの関係が築ける外国人の人材活用

人を繋ぐ広域行政による行政改革推進

九州レベルでの広域連携、県と市町村の垂直連携、市町村間の水平連携などを複合的に推進
フェリーなど既存インフラを活用した広域交通・物流体系の構築

民力・NPO・企業など新しい公共の活用促進

インフラやサービス部門へのPFI導入など専門性を有するNPOや企業の公共への活用
地域の人がつくりや主体的な取り組みへの支援

地域経済や環境と調和したエネルギー産業の構築

「安全」「安定」「経済」「環境」「安全保障」をキーワードにした持続性と将来世代に責任の持てるエネルギー産業の構築



ふじた正道
まさみち
民主党公認

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成27年4月12日
執行

大分県議会議員選挙公報

大分市選挙区

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)

- 庄内中学校卒
- 大分上野丘高校卒
- 大分大学経済学部卒
- 大分県監査委員
- 大分県監査委員

働き盛り
進撃の53歳

創ろう！まち・ひと・しごと

チャレンジ10の提案

- 一、誇りある教育で「可能性の再配分」を
 - 一、女性、若者、アクティブシニアに活躍の場を
 - 一、中小企業活性化条例を活かし、民間に力を
 - 一、過酷な医療・介護子育て現場の改善を
 - 一、心踊る農林水産業の創造を
 - 一、公共交通ネットワークの再構築を
 - 一、国道10・197・210・217・442号などの改良・渋滞解消を
 - 一、開港50周年・大分港の活用を
 - 一、W杯ラグビーの成功と美術館の活用を
 - 一、東南海巨大トラフ地震の備えを
- 行財政改革で実行財源の確保を

大分県の強みは、全国トップの供給量を誇る自然エネルギー・アジアに近い地理的優位性・産業集積の多様性・観光などの「地域資源」です。こうした資源を活かし、大分ならではの「まち・ひと・しごと」を創ります。

叩き上げのあそう栄作が
腰を据えて牽引します！

県民が主役の地方創生



あそう栄作
自民党公認



暖かい心
広い視野
行動力

もりながのぶゆき 1期4年の活動をもとに 守永信幸 がめざすこと

- 県政をみんなでデザイン
- 産業振興で地域活性化
- 誰もが希望をもてる社会
- 健康で安心して暮らせる社会
- 働く者に笑顔を
- 平和を護り、未来を守る

プロフィール

住所 大分市岩田町
経歴 碩田中学、大分上野丘高校、東京農工大卒業
農業改良普及員として県庁に24年間勤務
2011年大分県議会議員初当選
地元津留地区体育協会副理事長を務めるなど、積極的に地域活動にも取り組んでいます。

座右の銘

「暖かい心」「広い視野」「行動力」
幼い頃に父を交通事故で亡くした私が大学時代に玉井義臣さん(現あしなが育英会会長)から贈られた言葉で、常にこの言葉を胸に活動を行っています。



社会民主党公認
もりながのぶゆき
守永信幸

県議会公明党の重点政策

- 防災・減災対策の拡充** 大分の安心・安全のため、防災・減災対策を早期に拡充します
- 健康寿命の延長** 認知症対策をはじめ、高齢者が健康で長生きできる社会づくりを推進します
- 再生可能エネルギーの推進** 再生可能エネルギーによる地域振興計画を策定し、地域産業を活性化します
- 若者の定住** 雇用開拓や就業支援により若者の定住を進めます
- 女性の活躍を推進** 女性が輝く社会の実現へ、女性の社会進出支援を推進します
- 安心して子育てできる社会の実現** 小児救急医療体制、アレルギー対策など子育ての安心対策や、いじめ・不登校などに地域ぐるみの対策を推進します

かわの 河野せいじプロフィール

- ◆略歴◆
 - 昭和32年 別府市生まれ
 - 昭和51年 県立別府鶴見丘高校卒業
 - 昭和55年 創価大学法学部卒業
県庁職員に採用される
 - 平成18年 団体指導課課長補佐で退職
 - 平成19年 大分県議初当選
 - 平成25年 公明党県代表に就任
 - ◆議会役職◆
 - 県監査委員
 - 議会運営委員会副委員長
 - 土木建築委員会委員
- ◇好きな食べ物／カレーライス、とり天
◇特技／テニス
◇資格／防災士、第一種衛生管理者



かわの
河野せいじ

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成27年4月12日
執 行

大分県議会議員選挙公報

大分市選挙区

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)

維新の改革を県政へ!!

子どもに夢を、県民に生きがいを、元気な大分への挑戦!



維新の党

- 議員定数の削減! ● 天下りゼロ!
- 議員報酬カット! ● 未来への投資!

宮本ゆきおプロフィール profile

- 昭和19年1月14日生
- 柳井電機工業(株)勤務後
- 佐賀関町立神崎小学校卒
- 豊後空調サービス設立
- 佐賀関町立神崎中学校卒
- 神崎小学校PTA会長
- 県立東豊(大分東)高校卒
- 北郡PTA連合会会長
- 近畿大学理工学部卒業
- 元佐賀関町議会議員

ストップ地球温暖化!

米作り・裏作でニンニク栽培、地球にやさしい有機農業を実践中。現在、1,500本のヒノキを守っています。

子どもたちに残そう
美しい大分を!!



みやもと
宮本ゆきお
維新の党公認

ずっと 住みたくなるまちへ

もっと 子育てしやすいまちへ

さらに 活気があるまちへ

みんな 顔の見える地域へ

いっぱい 笑顔あふれるまちへ

47歳。若さと行動力で
「もっと」笑顔で暮らせる
「変化する」未来の大分へ

くらしに笑顔 未来への大分



- 1967年 竹田市に生まれる
- 1986年 竹田高校卒業
- 1990年 大分大学経済学部卒業
- 1990年 竹田市役所臨時職員として水害復旧に勤める
- 1991年 大分市役所に就職 観光PR、農業振興、IT関連業務に従事
- 2011年 大分市職労執行委員長
- 2014年 大分市役所を退職



きだ
木田のぼる
無所属・47歳

大分県知事選挙 大分県議会議員選挙

投票日は4月12日(日)

投票日当日に、投票所に行くことができない方は、期日前投票をご利用ください。



めいすいくん

期日前投票の期間 { 県知事選挙 3月27日(金)~4月11日(土) }
{ 県議会議員選挙 4月 4日(土)~4月11日(土) }

ふるさとの 創生託す この一票 大分県選挙管理委員会

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成27年4月12日
執行

大分県議会議員選挙公報

別府市選挙区

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)



しま 幸一
こういち
自民党公認

今、私たちに求められているのは、新しい発想で、未来を切り開いていくことだと思います。私は、現実を直視し、新たな視点を持って、従来の形態にとらわれない行動・提言をしていかなければ、と自覚しています。
私は、皆さんと一緒に未来を見据え希望を抱いて、ふるさと別府、郷土大分を守り発展させていくために、次の課題に全身全霊を傾けてまいります。

引き出そう 大分県の底力

☆地域の魅力を全国・世界へ発信

- スポーツの国際大会等を積極的に招致
- 豊富な温泉資源の多角的な活用を促進

☆地域に活力と笑顔を

- 地域の特色を活かしたエネルギー産業育成
- 第一次産業のブランド力向上と人材の確保

☆衣食住の安心・安全を向上

- 地震・津波・火山・土砂災害対策の充実
- 老朽化した社会インフラ等の補強・改修

☆一人ひとりが輝く社会に

- 健康予防知識の普及、健康長寿社会を推進
- 子育て世代を支援する福祉面の環境づくり
- 障害者の生活支援・就労促進、共生社会へ

☆大分の未来を担う人づくり

- 国際化に対応、貢献できる人材の育成
- 女性の再就職・社会参画の支援を強化

元気な別府 創生へ！

「戦争立法」ストップ・別府から女性県議を



えんど (猿渡)
久子
日本共産党

年金削り、消費税引き上げ、戦争する国づくりをすすめる安倍政権は許せません。国言いなりの県政では県民のくらしは守れません。女性の県議、日本共産党の県議をぜひ別府から送って下さい。身近な方に2票3票広げて下さい。

国のひどい政治から

くまの平和をたもたす

- 消費税10%きっぱり中止を
- 戦争する国づくりにストップを
- 原発ゼロ・TPP交渉撤退を

県議会で実現します

- 子ども医療費は通院も中学生まで無料に
- 重度障がい者の医療費助成は現物給付に
- 中学校まで30人以下学級に
- 国保税引き下げを
- 温泉つかって元気な別府に

財源はあります

- 県のためこみ金443億円
- キャノンなど企業補助金(156億円)のみなおし
- 無駄な大分と四国をむすぶ豊予海峡大橋は中止を
- 報酬以外の日当(費用弁償)3千円は廃止を

略歴

1959年 別府生まれ
明星小、青山中、青山高校
別府大学短期大学卒業
大分市役所で18年間保育士
別府市議4期



別府を世界一の 国際観光都市へ



佐藤ひろあき

「佐藤ひろあき」は、

- 地場産業を大切に育て、経営の安定化を図ります。
- 自然を大切にする政策を提言し、進めていきます。
- 一人一人を大切に作る社会、高齢者に優しく住みやすい街づくりに取り組みます。
- 経済格差で子どもの学力に差が出るのではないよう、安心して学業に励める教育環境づくりに取り組みます。
- 男女共同参画社会を推し進め、女性が社会や環境に左右されず、輝ける社会を目指します。

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成27年4月12日
執行

大分県議会議員選挙公報

別府市選挙区

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)

県議選別府市選挙区立候補者

原田たかし

折り鶴に込めた願い

「原田たかし」のシンボルマークは平和を象徴する折り鶴です。背景には、教育・福祉・労働を表現する虹がかかっています。



子どもたちが「生まれてきてよかった」、高齢者の方が「長生きしてよかった」、勤労者が「安心して働き続けられる」と思える社会を実現するために、【3つの約束】をします。

【教育】

子どもたちが夢と希望をもてる豊かな未来を守るために、教育環境の充実を
・子どもたちが豊かに楽しく学べる環境づくり
・教育条件の整備と教育予算の増額
・30人以下学級の実現

【福祉】

子どもや高齢者など社会的弱者の立場に立った福祉政策の推進を
・児童虐待の防止や子育て支援
・高齢者福祉の充実
・「障がい」のある人たちへの支援

【労働】

勤労者の立場に立った政策の実現を
・安定した雇用環境づくり
・臨時・非常勤職員の勤務条件の改善
・ワークライフバランスの実現

〈略歴〉 別府市出身・別府鶴見丘高校卒・大分大学教育学部卒・小学校教員(23年)
別府市議会議員(1期)・大分県議会議員(1期)・現56歳

はらだたかし
原田たかし

待ち受けているのは厳しい戦いですが、県民の皆様への幸福度向上に全力で取り組む事こそ私の使命と考えています。
平成十一年の市議会議員初当選以来、皆様方の絶大なご支援を頂きながら、この十六年間に別府のまちづくりにも全力投球してきました。
一緒に問題解決に取り組む多くの仲間に加え、様々な行政課題の克服に努力してきたつもりです。
おかげ様で、第五十一代市議会議長も無事に努めることができました。

私の決意

なぜ今、県政なのか？
日本は変わらなければならぬと私は考えています。全国で「地方創生」に向け、これから具体的な展開がなされます。この時、行政の中核的な単位は「県」になるはず。
つまり、今後は県政という枠組みの中で別府を考えていくことなしに、別府の観光浮揚も経済の再生もないと考えています。だからこそ、今この時に、私「吉富英三郎」が県議会という新たなステージにチャレンジをしなければならぬのです。



吉富
よしとみ英三郎

よろしければ、これまで政治にあまり興味を持たれなかった方や、ご関心があります方も、ぜひご拝見やお考えを頂けましたら、ありがたく思っております。

現在の、地方と都市部の格差や、労働環境の問題によりますます少子化の進行など、人々が最近の経済成長や、景気の指標を実感する事の出来ない社会の中で、いま私達の大分県が、本当に必要な経済対策としては、**人々が安心して労働や生活が出来る社会**と、**地域産業の活性化**が非常に大事な事だと、心より感じております。

その為に、地域産業の活性化に加えまして、労働環境の改善や、突然に事故などで、身体に障害が出来たり、重い病で働きたくても働けない人々や高齢になりまして、社会で支える事で、将来に安心して、子供を育てられまして、お買い物などの消費意欲の向上に伴います、消費活動や経済活動の活性化で、少子化や過疎化の改善にもつながりますような政策を目指してまいりましたらと思っております。



ホームページ
大分県 牧野 浩二

検索

プロフィールや、私達の生活に非常に影響がございますTPPの問題についてなどを掲載しています。



まきの
牧野
浩二
無所属(39歳)

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成27年4月12日
執行

大分県議会議員選挙公報

別府市選挙区

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)



荒金のぶお

「あいさつ」

施政の浄化・至誠一貫を
スローガンに原点に立ち返り
荒金のぶおは臆することなく
おごることなく県政において
声をあげ行動いたします
県民のため、そして故郷
別府のために
8選目を目指します
正しいことの意味が
変わらないうちに……

とだか賢史の挑戦！！

県議会公明党の重点政策
いのちを守る戸高！ ひとりの声をかた手に！

防災・減災対策の拡充 ハード・ソフト両面にわたる防災・減災対策を早期に拡充します

健康寿命の延長 認知症対策をはじめ、高齢者の健康寿命延長を推進します

女性の活躍を推進 女性が輝く社会の実現へ、女性の社会進出支援を推進します

子育ての安心 小児救急医療体制やアレルギー対策など子育ての安心対策や、いじめ・不登校などの問題に地域ぐるみの対策強化を推進します

観光誘客の促進 国際会議や大型イベント誘致の促進や、おもてなし人材バンクをつくり、観光客の満足度向上や別府のブランド力を高めます

再生可能エネルギーの推進
再生可能エネルギーによる地域振興計画を策定し、地域産業を活性化します

若者の定住
雇用開拓や就業支援により若者の定住を進めます



けんじとだか賢史プロフィール

- ◆略歴◆
 - 昭和45年6月26日生れ(44歳)
 - 平成6年 創価大学経営学部卒業
 - 平成9年から22年まで国会議員秘書
 - 平成23年4月 大分県議会議員初当選

- ◆党役職◆
 - 大分県幹事会会長代理
 - 県幹事
 - 県青年局長

- ◇座右の銘◇ 飲水思源
- ◇長所◇ 忍耐強いところ
- ◇趣味◇ スポーツ観戦
- ◇特技◇ ラグビー、野球
- ◇好きな食べ物◇ とり天、カレーライス



戸高
とだか
賢史
けんじ

大分県知事選挙 大分県議会議員選挙

投票日は4月12日(日)

投票日当日に、投票所に行くことができない方は、期日前投票をご利用ください。



めいすいくん

期日前投票の期間 { 県知事選挙 3月27日(金)~4月11日(土) }
{ 県議会議員選挙 4月 4日(土)~4月11日(土) }

ふるさとの 創生託す この一票 大分県選挙管理委員会

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成27年4月12日
執 行
(両面をご覧ください)

大分県議会議員選挙公報

中津市選挙区

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)

人の痛みのわかる政治

◎観光振興と地域づくりのために

- ・ 観光立県 No. 1 を目指します。
- ・ 伝統文化行事やイベントに対する支援。

◎農林水産業の振興のために

- ・ 地元ブランド作物の推進、流通の確立。
- ・ 中津の干潟、生物保護のサポート。

◎心豊かな社会福祉づくりのために

- ・ 障がいサポート制度の確立。
- ・ 夜間救急医療体制、休日医療、高度手術の拡充。

◎商工業振興のために

- ・ 地元企業、進出企業の誘致と連携。
- ・ 中津港の整備促進。

◎スポーツ振興と青少年育成のために

- ・ 教育予算の充実と学力、体力向上をはかります。
- ・ 30人学級、学童保育の拡大、基礎学力、少子化対策の促進。

大分県・中津市のために
仕事をさせてください
あと一歩です
勝たせてください
あなたの大切な一票を
毛利まさのりに託してください
よろしくお願い申し上げます



毛利まさのり

無所属

よしとみ 麻里子

■私の歩み■

昭和26年3月29日 (現在64歳)

豊田幼稚園
豊田小学校
豊陽中学校
扇城高等学校(現 東九州龍谷高等学校) 卒業

昭和44~49年 西日本鉄道株式会社 勤務
現在 地方卸売市場
中津中央青果(株) 取締役

好きな言葉 『ふまれても 咲くたんぽぽの
笑顔かな』

・待機児童ゼロ
・女性が今まで以上に輝く社会

▼豊かな中津

ハード面の更なる充実、安心交通アクセスの更なる充実と誇りある中津人の育成、ソフト面の拡充をはかります。

▼生きがいの持てる福祉

思いやりのある社会づくりに取り組めます
・少子・高齢化対策に取り組めます
・子育てしやすい仕組みづくりをします
・介護サービス等の向上行政的支援に取り組めます
・医療体制強化と財政的支援に取り組めます

▼安全・安心生活の確立

道徳心を培い、安心な暮らし、環境にやさしい地域に取り組めます
・農林水産物の安心安全うつくし推進
・女性や子供、弱者に対する性犯罪いじめ等の根絶

目指します!

誰でも「わかる県政」
誰でも「参加できる県政」



よしとみ

まりこ 麻里子

大友栄二(4代)です。

この度、県議会議員選挙の中津市選挙区から出馬しました。

私は、旧三光村の出身でして、中津市と合併して10年になりますが、旧下毛地域は、合併によるプラスの効果というよりむしろ過疎化、高齢化がますます進むなど、地盤沈下が激しいというのが実情です。

私は商工会青年部の活動などを通じて地域の活性化に努めてまいりましたが、周辺地域の暮らしを改善するために政治や行政の場で強く訴えることの出来る県議会議員として活動したいと思っております。「安全で豊かなふるさとを再興」を公約にかけて闘っています。中津市民の皆様のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



大友栄二

平成27年4月12日
執 行
(両面をご覧ください)

大分県議会議員選挙公報

中津市選挙区

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)



馬場はやし

私の政策目標

＊子どもに夢を
＊働く人に希望を
＊お年寄りに安心を

◇◇◇ 私のあゆみ ◇◇◇

1953年中津市犬丸生まれ
今津小、今津中、中津南校、北九州大学卒業
1977年中津市立緑ヶ丘中、中津中、豊陽中に
教諭として、26年間勤務
2003年中津市議会議員(2期8年間)
2011年大分県議会議員当選
「文教警察委員会」副委員長
「福祉保健生活環境委員会」委員長 等
【中津市バレーボール協会顧問】
【中津市卓球協会顧問】

◇◇◇ 私の提言 ◇◇◇

◎平和・人権が大切にされる社会の実現
◎30人以下学級の拡大・複式学級の解消
◎中津市民病院の整備と地域医療機関との連携
 による医療の充実
◎高齢者・障がい者にやさしい福祉制度の充実
◎太陽光など、クリーンエネルギーの導入促進
◎第6次「農林水産物の生産↓加工↓流通↓販売」
 産業の創成
◎地場産業の育成強化
◎中津商業高校跡地【県有地】の有効活用

大分県知事選挙 大分県議会議員選挙

投票日は4月12日(日)

投票日当日に、投票所に行くことができない方は、期日前投票をご利用ください。



めいすいくん

期日前投票の期間 { 県知事選挙 3月27日(金)~4月11日(土) }
{ 県議会議員選挙 4月 4日(土)~4月11日(土) }

ふるさとの 創生託す この一票 大分県選挙管理委員会

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成27年4月12日
執行
(両面をご覧ください)

大分県議会議員選挙公報

佐伯市選挙区

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)

議員が身を切り、佐伯に実をなす。

- 1、県議報酬**3割**カット・県議定数**3割**削減、子育て家庭へ支給
- 2、県との連携を深め本来の**佐伯の力、魅力**を引き出す
- 3、地域のことは**地域で**決め、**佐伯市**から**大分県**を変える
- 4、常に**皆様と同じ目線**で**本物の政治家**を目指します
- 5、女性の活躍を全力で応援、**子供達に希望**が持てる**佐伯**へ

〔プロフィール〕 昭和45年佐伯市に生まれる
 東小学校・鶴谷中学校・鶴城高校 卒業・米国交換留学
 慶應義塾大学法学部 卒業・佐伯ラーメン愛好会 顧問
 前佐伯市議会議員・番匠川美化プロジェクトつなばん理事
 NPO防災教育振興協会理事長・元東京青年会議所理事



維新の党公認
桑原
 ひろし 44歳

佐伯がいちばん!

私はこれまで32年間(市議4期16年, 県議4期16年)にわたり、ひたすら現場主義と即戦力の政治家として活動してきました。
 今回、県議選5期目の出馬にあたり、改めて初心に立ち返り、これまでの政治経験を生かし、地方創生の時代に直面する佐伯の課題に果敢に取り組む覚悟です。

<p>まち</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少問題の克服のため、佐伯独自の自然・文化・歴史など大切な地域資源を生かし、元気なまちをつくります。 南海トラフ地震や津波への安心安全対策として防災施設の整備や防災訓練・教育などハード・ソフト両面から災害に強いまちをつくります。 	<p>ひと</p> <ul style="list-style-type: none"> 高速道路の開通を契機に、企業誘致や観光産業などを推進し、若者・女性・高齢者・障がい者の雇用拡大に努めます。 後継者不足の農林水産業に活気を取りもどすため、生産・加工・販売を一体化する6次産業化を図り、ひとつづくりに取り組みます。 	<p>しごと</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要港湾佐伯港を開発促進し、基幹産業である造船・鉄工・海運業の集積地域を「海事産業特区」として発展させます。 今後の公共事業の予算を確保し、道路・トンネル・橋などの長寿命化や各地域の切実な要望に対応し新規バイパス事業を促進します。
--	--	--



たなか としあき
田中利明
 自由民主党公認

今、新たなる決意!! 私は やります。

「安全・安心・災害に強い」まちづくり

- ・ 地域に密着した県政で、新しい県南の創生
- ・ 農林・水産・商工業の人材確保と充実発展
- ・ 高速道路開通による地場企業の育成と地域活性化
- ・ 企業誘致の促進で、就労・結婚・子育て支援
- ・ 県南の文化・芸術・伝統行事の継承と観光振興
- ・ 保健・医療・福祉の連携強化と充実
- ・ 高齢者・障がい者・こどもたちにやさしいまちづくり
- ・ 青少年健全育成とスポーツ振興
- ・ 避難路・避難場所・防災倉庫の充実で地域防災力強化
- ・ 被災者ゼロのまちづくり



自由民主党
みたらい
 よしお 吉生

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成27年4月12日
執 行
(両面をご覧ください)

大分県議会議員選挙公報

佐伯市選挙区

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)



ふかづ栄一

えいいち

社民党公認

66歳

「あなたの声を県政に」この言葉をいつも胸に刻みながら二期8年間、精進を重ねてまいりました。

佐伯市では高速道開通の嬉しいニュースもありますが、いつぼうでは少子高齢化の急激な進展という厳しい現実があり、雇用・福祉・農林水産業・教育など課題が山積みしています。

「ふかづ栄一」は「4つの約束」を掲げ、三期目に挑戦します。ので、かわらぬご支援をお願い申し上げます。

ふるさと大分を守る4つの約束

くらしと雇用を守る

- 非正規雇用の是正促進と賃上げで、若者に夢と希望を。
- 月額最低8万円の年金給付で、安心の社会保障を実現。
- 高齢者や障がいをもつ人が夢と希望もてる福祉の充実。

地域と農林水産業を守る

- 農林水産業と地域経済を破壊するTPPを許しません。
- 農家への戸別所得補償制度を復活・充実させ若者が安心して働ける農業にします。
- 海・山・川に恵まれた佐伯市の自然の特性を生かし、もっと元気な佐伯市をつくります。

生命と環境を守る

- 子供たちの笑顔あふれる「ふるさと」にします。
- 子供本位の教育施策の充実を実現します。
- 再生可能なエネルギーへの転換を。

平和と憲法を守る

- 集団的自衛権行使容認を撤回させ憲法9条を守ります。
- 危険なオスプレイの配備・訓練の撤回を。
- 米海兵隊の日出生台演習を縮小・廃止します。

大分県知事選挙 大分県議会議員選挙

投票日は4月12日(日)

投票日当日に、投票所に行くことができない方は、期日前投票をご利用ください。



めいすいくん

期日前投票の期間 { 県知事選挙 3月27日(金)~4月11日(土) }
{ 県議会議員選挙 4月 4日(土)~4月11日(土) }

ふるさとの 創生託す この一票 大分県選挙管理委員会

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成27年4月12日
執行

大分県議会議員選挙公報

豊後高田市選挙区

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)

世代交代 若い感性と行動力 明日の郷土に新しい風を!



あなたの一票で未来が変わります!

農林水産業、商工観光業、教育、医療、福祉の充実に向け、豊後高田市には、まだまだ沢山の可能性があります。しかし、この可能性を活かすも、つぶすも、政治次第。

未来を考え、行動する
47歳

- 昭和61年(1986)年3月 高田高校を卒業
- 平成4(1992)年3月 明治大学政治経済学部政治学科卒業
- 豊後高田市消防団(現役)
- 高田小PTA会長(H20~24)
- 豊後高田商工会議所青年部会長(H21)

もっともっと!豊かな暮らしのために みんなで新しい時代の幕を開けましょう!

音楽ホール・芸術会館・スタンド付野球場・サッカーグラウンド 武道館・グランドゴルフ場など、施設の充実と文化・スポーツ振興

あなたの一票を清末浩一 お願いします。



きよすえ 浩一
ひろき

七期の経験と実績

- | | |
|-------|------------------------------|
| 昭和36年 | 大分県立高田高等学校卒業 |
| 昭和40年 | 専修大学経済学部卒業 |
| 昭和62年 | 大分県議会議員 初当選
以後連続7期当選現在に至る |
| 平成2年 | 農林水産委員長 |
| 平成5年 | 総務企画警察委員長 |
| 平成11年 | 第79代大分県議会 副議長 |
| 平成12年 | 決算特別委員長 |
| 平成15年 | 第64代大分県議会 議長 |
| 平成16年 | 行財政改革特別委員長 |
| 平成18年 | 大分県議会運営委員長 |
| 平成19年 | 地域・産業活性化特別委員長 |
| 平成21年 | おおいブランド推進特別委員長 |
| 平成23年 | 自由民主党会派 代表 |

豊富な経験と実行力 あなたの声を活かす為!! “更なる挑戦を”

☆安全で安心な地域づくり
防災対策の確立、地域医療、介護「老人施設・身障者施設・その他介護施設・介護サービス」の充実と向上による安心した地域づくり

☆農林水産業の振興
地域の重要な農林水産業が安定すべく環境整備をし、商業、観光との連携を考えます。

☆教育環境の充実を目指して
小・中・高の学力向上と体力づくり。スポーツ・文化・芸術において未来に向けての優秀な人材育成のための教育環境の充実を目指します。

☆社会資本の整備
豊後高田市からの東九州自動車道へのアクセス道路網の整備、その他地方道の整備を推進します。

☆活力ある地域経済づくり
地域の商工業において未来の経済に向けてどう発展すべきかを対話と戦略をもって活動します。

☆観光の振興
豊後高田市を中心に周辺、広域地域との連携により地域性の高い独自の観光を目指します。



佐々木 史郎
しろう
無所属

“団塊の世代”を元気にする会

60代、70代の仕事場提案(団塊人材派遣センター設立)

先輩尊重、介護サービス向上の提案

ガン治療応援基金の設立

真玉、香々地の再生なくして豊後高田市の限界集落脱出は無い

行政は県民のためのサービス業に徹する



あまだ 望
のぞむ

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成27年4月12日
執行

大分県議会議員選挙公報

豊後大野市選挙区

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)

六言実行

1. 地方創生で元気なまちを創ります
●長期的な予算の確保
●スポーツツーリズムの推進
●農業・林業畜産産業の競争力強化と所得増の創出
●子育て支援対策
2. 自然と共生のまちを創ります
●山、川を活かす
3. 商工業・建設業が継続・発展できるまちを創ります
●零細企業に元気を
4. 教育・生涯スポーツ環境の充実したまちを創ります
●教育環境の充実
5. 誰もが安心なまちを創ります
●安心できる暮らし
6. 社会基盤整備で安心・安全・発展するまちを創ります
●社会資本整備のスピード化



まっすぐ上へ前へ！

地方創生

まち・ひと・しごと

まさよしは県議会議員1期目の4年間、県政とのパイプを存分に発揮し、県民の幸せを築くため真剣に取り組んできました。これからはまっすぐ前へ上へ！をモットーに、「6つの約束」実現に向け皆様と共に頑張りぬきます。



自由民主党公認
ごとう
後藤まさよし

63歳

地域の想いをチカラに！笑顔いっぱいのもちづくり

地域資源を活かした産業振興により、地域コミュニティの活性化を図り誰もが安心して定住できるまちづくりに取り組みます！

森せいいちプロフィール

昭和48年 朝地町池田生まれ
平成4年 竹田高校卒(陸上部)
平成8年 拓殖大学政経学部卒
平成8年～平成12年 熊本ホームインブルームメントひろせ
平成12年～平成26年 朝地町土地改良区

◆主な活動
地域づくり組織 朝地フレンドクラブ事務局長

◆家族
妻、長男(6歳)、長女(4歳)、次男(1歳)、両親

◆座右の銘
「飲水思源」～水を飲んで源を思う～
※水を飲む時、舌舐めて水源をたどった先人の努力に想いをはせること。

子育て世代として、次世代へ、この地域の素晴らしさを引き継ぐために、学校・家庭・地域と連携した教育環境整備に取り組むとともに、身近な健康づくりの機会の充実、芸術・文化・スポーツの振興を図ります。

つなぐ！

「大分の野菜畑」「豊後牛」「しいたけ」に代表される豊後大野ブランドを活かした農林畜産産業振興、ジオパーク認定都市の優位性を活かした商工観光業振興に積極的に取り組みます。

活かす！

人口減少と少子高齢化の進展で、農林畜産業、商工業に携わる皆さんの状況は非常に厳しい状況にあります。私たちの街の歴史と文化を築いてきた先輩方の想いを受けとめ、実情に合わせた施策を推進し地域の産業と生活を守ります。

守る！



無所属
もり
森せいいち

41歳

安心を創る

地域で皆が支え合い、安心して暮らせる地域を創ります。国の社会保障制度が大きく変わる中、子育て支援・高齢者福祉・障がい者福祉、地域医療など私たちの暮らしに大きな影響を及ぼす制度に市民県民の視点で真正面から取り組みます。

地域で育む

教育は未来への投資です。一人ひとりの子どもの未来を大切にす教育実現の視点から教育格差の解消に取り組めます。地域の学校を育てる視点で小中学校三重総合高校、県立農業大学の教育環境の充実に取り組みます。

水を守り・森を育てる

私たちの財産である祖母・傾山をはじめとする九州山地、大野川流域の自然生態系を守る取り組みを進めていきます。産廃処分場建設には反対の立場で臨み、鳥獣被害対策には農林業被害対策という視点に加え、森林の生態系を守る視点から積極的に取り組みます。

雇用を創る

住み慣れた地域で暮らしたい。この願いに応えるため、農林業の振興、地場産業の育成・支援、商業の活性化など働き続けられる、活気ある地域づくりに取り組んでいきます。「地域に雇用を創る」ことが切実で大きな政策目標です。

平和憲法を守る

人々が幸せに暮らすにはまず平和であることです。平和なしには福祉も教育も雇用も成立しません。平和で安全な地域は皆の願いです。私は日本国憲法を守り育てる取り組みを進めます。

ずっと先の先まで安心を！

合併して10年。これまでに培った市民同士の信頼と絆をものに、豊後大野市を新しいステージへと押し上げていくことが必要です。県議会議員2期8年の経験を生かして、「ずっと先の先まで安心して暮らせる地域づくり」に生活者の目線で取り組みます。



無所属
たまだ輝義
52歳

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成27年4月12日
執行
(両面をご覧ください)

大分県議会議員選挙公報

由布市選挙区

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)



さとう友信

私のモットーは「有言実行」

さとうは働く！県政の架け橋

インフラ整備の推進で4つのUP！

私の主要政策である「道路整備の推進」「四つのUP」これらの実現に全力で取り組んでまいります

- UP 4 **観光産業の振興 UP！**
- UP 3 **若者の定住率 UP！**
- UP 2 **安心して暮らせる環境 UP！**
- UP 1 **生活の利便性 UP！**

一、子育て満足度日本一の実現を目指します

二、高齢者の生きがい作りと社会参加を促進します



こんどう 和義
自民党公認
公明党推薦

- 一、ツーリズム戦略の推進（観光振興条例制定）
 - ① 観光は、経済波及効果の大きいリーディング産業。全国に誇る「ゆふいん」を核に湯平・庄内の黒嶽・男池・挾間の由布川渓谷を結ぶ周遊観光ルートづくりで地域の活力を生み出します
- 二、農林水産業の振興（おおいたの食と農の振興条例制定）
 - ① 地方創生は、農業の再生が最重要
 - ② 特色ある農産物のブランドづくり
 - ③ 地産地消の直販施設
 - ④ 意欲のある生産者、集落営農の支援強化で美しいふるさとを守ります
- 三、商工の振興と新たな産業創出
 - ① 地域資源を活かすモノづくり
 - ② ベンチャー企業などのエネルギー開発
 - ③ 小水力発電などのエネルギー開発
 - ④ 異業種連携、交流人口増加等で商工の活性を取り戻します
- 四、市民生活の資質向上と安心安全な暮らしを守る
 - ① 暮らしの基本は、水です。唯一人口増の挾間水問題の抜本解決を進めます
 - ② 市内縦貫の国道210号線、医大バイパスの早期四車線化
 - ③ 県道路線の有効な整備を進めると共に、トンネルによる新たなルートの開設を図ります
 - ④ 自然災害に備え国や県の力を最大限に導きます
- 五、教育、人材育成
 - ① 地域に必要な人材は、地域の力で育てることが肝要です
 - ② 由布高校を由布市躍進のシンボルに文武両道の名門校として多様な人材確保を図ります
- 六、人口減少、生きがい対策
 - ① 子育て世代の負担軽減
 - ② 長寿社会の健康生きがい対策
 - ③ 子どもの生き育てやすい環境づくり
 - ④ 生活弱者への支援強化
 - ⑤ 市民文化の向上対策
- 七、美しい景観、環境づくり
 - ① 自然豊かな由布市の環境を更なるものとするため、山桜など広葉樹によって日本一の誇りある美しい景観づくりを着実に進めて参ります

じっくり とことん しらしんけん

地域を元気に！由布市から始める大分県づくり

～ 10年先の明日を見つめて～

1. 子育て・少子化対策
2. 教育問題への対応
3. 高齢化対策
4. 農村対策(＝高齢化対策)
5. 水資源対策
6. 農業と観光の連携強化
7. 安心安全対策



役場・市役所職員として約40年、市議会議員として2期5年間、地方自治の最前線で駆け抜けてきました。

これからも、皆さんの身近に寄り添い「暮らしとまちへの想い」を「かたち」にするために、「しらしんけん動きます」。



二ノ宮健治

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成27年4月12日
執 行
(両面をご覧ください)

大分県議会議員選挙公報

由布市選挙区

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)

SMART

県政を!

企業経営で、培ったバランス感覚で
大分県政を大改革いたします。



はせがわ
長谷川しゅうじ

廃 県 置 州

INNOVATION

大分県の今の実情は、会社で言えば、借金が多いにもかかわらず、社長以下、社員が高給を取っている。・・・という実態です。企業家としての私はその現状を鑑みて、大いに危機感を抱きました。そして「SMART県政をI」というスローガンを打ち出しました。絶対に「県政大改革」を実現せねばならないのです。

大分県政
「大改革」
未来への責任



はせがわしゅうじ
長谷川

プロフィール
一九五二年十月十日生まれ。由布院小、由布院中を経て、陸上自衛隊少年工学校入学と同時に神奈川県立湘南高等学校へ入学。後、大分県立森高等学校に転校、卒業を経て日本大学商学部卒業。現在、(株)西日本ハウズ代表取締役(不動産業)(株)ホリデイズ代表取締役(輸入雑貨店を二十三店舗)タイ、香港にも関連会社を有す。

www.hase-syu.com

NEXT YUFU★NETWORK

大分県知事選挙 大分県議会議員選挙

投票日は4月12日(日)

投票日当日に、投票所に行くことができない方は、期日前投票をご利用ください。



めいすいくん

期日前投票の期間 { 県知事選挙 3月27日(金)~4月11日(土) }
{ 県議会議員選挙 4月 4日(土)~4月11日(土) }

ふるさとの 創生託す この一票 大分県選挙管理委員会

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成27年4月12日
執行

大分県議会議員選挙公報

国東市・
姫島村選挙区

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)

のりこの約束

- 1 活力ある第1次産業の発展**
●産業の振興を図り、所得の向上をめざします。
- 2 福祉の充実**
●人権を大切にし、高齢者・女性・子ども・若者が輝ける社会の実現をめざします。
- 3 教育環境の整備**
●民主的な教育行政の推進に努めます。
- 4 地域の活性化**
●雇用を創り、若者の定住を図ります。
- 5 観光の振興**
●豊富な海外経験を生かし、世界農業遺産、ロングトレイル、ジオパーク等を生かした観光客の誘致を図ります。

《経歴》 ●アイルランド留学 ●キャセイパシフィック航空 国際線客室乗務員香港ベース(18年間勤務)

女性
の
目
線
で
国東・姫島に
新しい風を!!



さいとうのりこ

(無所属)
46歳

国東・姫島創生!! 地元の声を県政に!!

誠実に実行!

プロフィール

東北大学工学部卒
安岐町議会議員(1期)
国東市議会議員(3期)
国東市監査委員
文教厚生常任委員長
議会運営委員長

選挙事務所
〒873-0511
国東市国東町小原145番地5
TEL 0978-72-4545
FAX 0978-73-2626

私は、市民・村民の代表である首長と多くの議員の支援をいただいています。オール国東・姫島で国東市・姫島村の課題を県政の中で全力で取り組んでいきます。

私は、安岐町議一期、国東市議三期、議員歴十二年の経験を活かして、次のことを県政の中で取り組んでいきます。

国東市・姫島村の最大の課題は、人口減少対策です。それには、まず国東市・姫島村の基幹産業である第一次産業をはじめとする産業の振興と、企業を誘致し雇用の確保と定住化に取り組んでいきます。高齢者には、介護・医療が連携した地域包括ケアの推進で、健康寿命を伸ばし、市民・村民の安心・安全のため、国東市民病院の医師確保に取り組んでいきます。子どもたちには、保育の充実と学力を向上させ、怒の心(思いやり)を持つ子どもに育つよう取り組んでいきます。国東市・姫島村の観光資源である、世界農業遺産・ジオパークを活用して、市外、村外の人を呼び込み、交流人口を増やすよう取り組んでいきます。国東市に立地する大分空港の名前を「大分国東半島空港」にするよう取り組んでいきます。



きぎきしんじ

自由民主党公認

(59歳)

大分県知事選挙 大分県議会議員選挙

投票日は4月12日(日)

投票日当日に、投票所に行くことができない方は、期日前投票をご利用ください。



めいすいくん

期日前投票の期間 { 県知事選挙 3月27日(金)~4月11日(土) }
{ 県議会議員選挙 4月 4日(土)~4月11日(土) }

ふるさとの 創生託す この一票 大分県選挙管理委員会

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

平成27年4月12日
執行

大分県議会議員選挙公報

日出町選挙区

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)

さのさとるが推進したい日出町の未来

育ててもらった
“ふるさと”
に感謝!

日出町活性化に、全力前進!
地方創生

① 安心して子育てができる町を目指します

- 保育、義務教育期間、児童の保育料軽減、授業料の無償化、児童医療費負担の軽減を進めます。
- 安全な児童通学路を確保します。
- 新図書館を活用し、「子育て教育」「子育て悩み相談室」をつくります。
- 安心して遊べる空間、キッズコーナーを設置します。

② 日本一住み良い町づくりを目指します

- 介護サービスを充実し、高齢者医療費の負担を軽減します。
- 災害防止対策を強化し、各地区の災害避難設備を充実させます。
- 高齢者や、障害のある方々が安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。
- 空き家バンクや新築奨励金制度等の定住移住推進事業を推進します。

③ 活力にぎわいのある町づくりを目指します

- 農林漁業・商工業の活性化に積極的に取り組み、にぎわいのあるまちにします。
- 若者の働く場を確保する、起業支援や企業誘地に努めます。
- 子どもから大人まで集えるスポーツイベントを実施して交流人口を増やします。
- 民間、国県町のネットワークを作り、国際交流に積極的に取り組みます。

地方創生という新しい時代の幕開けです。皆様と一緒に日出町の存在価値を高めていきたいです。日出町の住みやすい環境・豊かな文化を大切に、町民、議会と連携を取って参ります。また、行政だけでなく民間企業の知識やノウハウを取入れて県内外に発信し、人口の増加を目指します。私、さのさとるは日出町と国・県を繋ぐパイプラインとしての役割で邁進します。



大分県議会議員候補 無所属

さのさとる



みうらまさお

三浦正臣

37歳
無所属

みなさまからの「評価」をおおぎます。

一期四年が過ぎました。これまで、県政報告として二度、自己評価による「通知表」を紹介させていただきました。

2013年8月(5段階評価)

・市町村との連携	2
・学力問題	3
・道路整備	3
・第一次産業	3
・中小零細企業支援	3
・福祉対策	4

2014年10月(5段階評価)

・市町村との連携	4
・学力問題	4
・道路整備	4
・第一次産業	4
・中小零細企業支援	3
・福祉対策	4

しかし、これらは自己評価に過ぎません。本県議選の結果が真の「通知表」です。

みなさまから更なる努力の機会を与えていただければ、三浦正臣は必ず期待に応えます!

三浦正臣のめざす「まちづくり」

- 一、少子高齢化、人口減少の中で、活力を維持していくまちづくり
- 二、安心して子どもを産め、子どもの立場に立った教育施策を充実させた子育てしやすいまちづくり
- 三、日出町・大分県の、第一次産業の発展をめざした、自然と資源を活用するまちづくり
- 四、地場企業に対する支援体制を整備し、地元経済が活性化する、活気あるまちづくり

大分県知事選挙 大分県議会議員選挙

投票日は4月12日(日)

投票日当日に、投票所に行くことができない方は、期日前投票をご利用ください。



めいすいくん

期日前投票の期間

- 県知事選挙 3月27日(金)~4月11日(土)
- 県議会議員選挙 4月4日(土)~4月11日(土)

ふるさとの 創生託す この一票

大分県選挙管理委員会

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。